

1. 件名：安全実績指標の提出方法に関する原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和5年7月4日16時30分～17時10分

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室、オンライン

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ

検査監督総括課 村上課長補佐、笠川室長補佐、田邊係長

実用炉監視部門 宮坂原子力運転検査官、井上係長、高木原子力規制専門員

原子力エネルギー協議会 副長

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 保安管理グループ 検査対応チームリーダー、他1名

(以下、オンライン出席)

関西電力株式会社 原子力事業本部 マネジャー

5. 要旨

○原子力規制庁から、各電力事業者から報告を受けている安全実績指標（以下「PI」という。）について、令和5年度第1四半期以降は、号炉ごとにPIのデータが分かりやすくなるように、記載を見直すよう伝えた。

○また、原子力規制庁から、これまでのPIの運用実績を踏まえ、今後運用を検討していく上で、以下の事項について確認を行った。

- ・PIのうち「重大事故等及び大規模損壊発生時に対応する要員の訓練参加割合」及び「重大事故等対策における操作の成立性」の評価時期について、訓練サイクル毎から四半期毎に変更することによるPIのデータ提出の可否
- ・放射線安全に係る監視領域の各PIの評価時期について、年度毎から四半期毎に変更することによるPIのデータ提出の可否

○原子力エネルギー協議会及び電力事業者から、本日の面談を踏まえ確認する旨の発言があった。

6. 配布資料

なし

以上